事業番号	15 03 01	**事業改善シート（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検		
事 業 名	**高等学校学びの支援事業費**	部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課
		実施期間	S27 ～	E-mail	koko @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるという背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子どもの減少は続く見通しである。
・授業や日常生活に支障のある帰国生徒や外国籍の要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。

2 事業目的

・長野県の高校教育として多様な学びの場と学びの仕組みを用意し、全ての高校がこれからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、全ての生徒が自ら夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。
・要支援生徒が在籍する場合において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①県立高校の施設の充実・整備

当初予算のとおり

②時代に合わせた県立高校の教育環境づくり

・災害時における避難所の良好な生活環境を確保するため、避難所に指定されている県立高等学校を対象に体育館への空調整備を行う。（債務負担行為設定。期間：令和８～９年度　11月補正額　323,922千円）
・文部科学省の高等学校等教育改革推進事業に追加して採択された改革先導拠点における教育改革を推進するため、国庫補助金を原資に公立高等学校等教育改革推進基金を積み増しするとともに、事業実施体制を構築し、スマート農業教育に必要な実習施設の改修等に着手する。
・再編・統合を予定している高等学校において、NSDプロジェクトの取組を踏まえた設計に基づく校舎新築工事を行うため、老朽化した校舎の解体工事を実施する。（債務負担行為設定。期間：令和８～10年度　11月補正額 847,585千円）
校舎解体工事：伊那新校
※その他の事業は９月補正、６月補正及び当初予算のとおり

③学習に困難を抱える生徒への支援の充実

当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例　↗：改善　↘：悪化　→：変化なし　－：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	トイレの洋式化率	%	55.0	57.8	↗	63.2	↗	69.7		令和11年度までの整備計画の中で、R8年度に最大限実現可能な洋式化率を目標とする。
②	全県立高等学校のうち、1月あたりの時間外勤務時間（各月平均時間）が45時間以下の学校数の割合	%	73.1	82.5	↗	83.5	↗	85.0		令和９年度までに１月あたりの時間外勤務時間が45時間以下の学校数の割合を100%にすることが長期目標であるため、R8年度はこれまでの実績等から85%を目標とする。
③	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている」の回答率	%	88.9	96.9	↗	93.7	↘	94.0		令和９年度までに「助かっている」の回答率を100%にすることが長期目標であるため、R8年度はこれまでの実績等から94%を目標とする。

5 本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2023 (R5)	84.4	2024 (R6)	85.2	2025 (R7)	85.0	2027 (R9)	84.3

6　事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計（予算現額）	うち一般財源		
R8年度	3,212,817	5,416,752	7,683,435	**3,995,844**	16,313,004	3,006,011		20.6
R7年度	964,923	6,260,361	1,436,189		8,661,473	2,937,689	5,316,590	20.6
R6年度	0	1,421,761	1,076,119		2,497,880	948,339	1,450,608	19.2

事業番号	15 03 01	**細事業一覧（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事 業 名	**高等学校学びの支援事業費**	部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
1	**経常運営費**	510,732 千円	2,148,252 千円	予算現額 10,114,304 うち今回補正額 3,995,844 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	県立高校学習環境改善事業	直接	県立高校におけるトイレ環境を改善するため、すべてのトイレの洋式化に加え、床の乾式化、衛生器具の更新等の総合的・包括的な整備を令和11年度にかけて順次実施する。 整備対象　183部屋
2	高等学校長野スクールデザイン（NSD）実施事業	委託	これからの新しい学びを支える学習空間デザインを実現するため、統合新校の施設整備に当たり、基本計画策定の段階から専門家の知見を活用し、様々な関係者の意見を取入れながら実施 計画策定対象　2校
3	県立高校再編実施計画検討事業	直接	統合新校の目指す学校像や教育方針などを地域と協働し検討するための「新校再編実施計画懇話会」の開催 統合新校ごとの懇話会開催回数　4回程度
4	学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業	直接	学校の特色を活かした学びの体制を強化するため、学校と社会をつなぐ連携コーディネーターを増員する。 連携コーディネーターの配置23名
5	聴覚障がいのある生徒を支援する遠隔パソコン文字通訳システム活用事業	直接	聴覚障がいのある生徒の学びをサポートするため、遠隔パソコン文字通訳システムによる要約筆記を委託により実施 要約筆記延べ時間数　288時間
6	電子採点システム導入事業	直接	県立高校の入学者選抜業務の効率化等を図るため、電子採点システムをすべての県立高校に導入する。 全ての県立高校で導入
7	県立高等学校・県立高等学校附属中学校の入学者選抜におけるインターネット出願方式導入事業	直接	県立高校の入学者選抜と同様に、県立高校附属中学校入学者選抜にもインターネット出願システムを導入する。 全ての県立高校及び県立高校附属中学校で導入
8	産育休代替教員の事前配置による子どもの学び継続事業	直接	産育休を取得する教員の代替者を年度当初に確保することにより、年度中途の欠員抑制と子どもの学びの継続を図る。 産育休取得教員の代替者確保（１人）
9	県立高校の情報発信強化・充実のためのホームページ再構築事業	直接	「県立高校の特色化に関する方針」において示した情報発信の強化・充実を図るため、外部委託による県立高校のホームページのリニューアルを行い、各校の特色、魅力を発信する。 令和7年～８年度の２か年でリニューアルを実施
10	県立高校特色化推進事業	直接	令和６年９月策定の「県立高校の特色化に関する方針」に基づくの特色化について、地域の実情・人材ニーズの把握や職員研修等を行うとともに、生徒自らが特色化・魅力化に資する事業を企画提案することにより、全校において学校を挙げて取り組む。 全ての県立高校で実施
11	2030年以降の高校のあり方検討事業	直接	2030年以降の高校のあり方について検討していくため、将来像検討委員会(有識者検討委員会)及び産業教育審議会を新たに設置する。 将来像検討委員会の開催　令和8年度　5回 産業教育審議会の開催　令和8年度　5回

12	県立高校空調設備整備事業	直接	長期化する猛暑を踏まえ県立高校における学習環境等を改善するため、夏季に使用する特別教室等の空調整備率が令和９年度までに100%となるよう、エアコン設置に順次着手 実習室への業務用エアコン設置等工事　194室
13	高等学校等教育改革推進事業	直接 その他	文部科学省の高等学校等教育改革推進事業に採択された改革先導拠点における教育改革を推進するため、国庫補助金を原資に公立高等学校等教育改革推進基金を積み増しするとともに、事業実施体制を構築し、スマート農業教育に必要な実習施設の改修等に着手する。 対象拠点　松本工業高等学校、佐久平総合技術高等学校、 飯田高等学校、総合教育センター

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
2	**理科教育設備・産業教育設備整備事業費**	294,601 千円	341,842 千円	予算現額 366,408 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	理科教育設備整備	直接	理科教育のための実験・実習設備の整備、老朽化した設備の更新 整備対象　40校
2	産業教育設備整備	直接	産業教育のための実験・実習設備の整備、電子計算組織等のリース・運用 設備更新　10校

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
3	**特色ある学科設置事業費**	95,317 千円	92,730 千円	予算現額 103,646 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	特色学科の設置・運営	直接	特色学科を運営するための外部講師の招聘、運営システムの導入、外部実習の実施等 対象学科・対象校　　特色学科11学科、総合学科５学科、多部制・単位制３校

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
4	**高等学校全国募集推進事業費**	－ 千円	48,487 千円	予算現額 62,373 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	高等学校全国募集推進事業	直接	県立高校の全国募集を推進するため、生徒の全国募集を推進するプラットフォームへの参加、全国募集実施校の生徒が入居する市町村立寮等に対する運営費用の補助及び民間寮等へ入居する生徒に対する家賃等の補助を実施する。 対象校　4校

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
5	**高等学校再編施設整備事業費**	1,588,589 千円	6,021,555 千円	予算現額 5,657,392 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	高等学校再編施設整備事業	直接委託	再編・統合予定の高等学校において、令和４年度から実施しているNSDプロジェクトの取組を踏まえた設計業務を進めるとともに、校舎の工事を推進
			整備対象　6校

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
6	**日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費**	3,604 千円	3,199 千円	予算現額 3,280 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	直接	外国籍生徒や帰国生徒の高校生活をサポートするための生活支援相談員を配置
			配置延べ時間数　1,020時間

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
7	**定時制課程運営費**	3,813 千円	4,185 千円	予算現額 4,363 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	教育設備充実事業	直接	定時制課程の教育条件充実のための備品整備
			整備対象　2校
2	定時制課程教科書購入費補助事業	直接	夜間定時制課程に修学している生徒を支援するため、対象となる生徒に対し、教科書購入費を補助
			補助対象　16校

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
8	**通信制教育運営費**	1,224 千円	1,223 千円	予算現額 1,238 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	通信制生徒子弟託児事業	直接	通信制課程の生徒がスクーリングに出席できるように託児所を開設
			保育士の配置　2校
2	通信制課程教科書購入費補助事業	直接	通信制課程に在籍する生徒のうち、一定の要件を満たす生徒へ教科書購入費を補助
			補助対象　2校